

富士写真フイルム株式会社 社長様

要 望 書

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私たち「フィルム文化を存続させる会」は、フィルム文化の素晴らしさと重要性をアピールし、存続を訴える有志のグループです。

私たちの会には、貴社のフィルムを長年愛用し、現在でも映画（映像）・写真作品を手がけているユーザーが数多く参加しています。また現在映画、映像業界で活躍中の30～50代の多くは貴社が独自に開発された優れたフォーマットである「シングル8」と出会い、映画を学んできました。

貴社は2006年4月25日、シングル8用フィルムの販売および現像終了を発表されました。

しかし、今なおシングル8で映像作品を制作し国内外の映画祭で出品されている作家が存在していることや、映像教育現場においてもシングル8が多数使用されている現状をみても、シングル8は、あっさり切り捨てるわけにはいかない文化の一つであると私たちは考えます。

シングル8ユーザーたちは貴社の発表以降、大変困惑しているのが実情です。

私たちは「シングル8の製造、現像を今後も続けて頂きたい。」「事業として継続が難しければ、別の方法をユーザーである私たちと一緒に考えて頂きたい。」との思いから以下の要望をさせていただきます。

7月31日（月）までに文書にてご回答を頂けますよう、宜しく願いいたします。

2006年7月18日

フィルム文化を存続させる会

（連絡先）事務局長：水由 章

〒184-0013 東京都小金井市前原町5-16-6

ミストラルジャパン内

TEL:042-380-8270/FAX:042-380-8271

記

1. シングル8フィルムの販売終了（2007年3月）及び現像終了（2008年9月）を撤回し、従来どおり販売と現像を継続して下さい。

2. 私たちはシングル8存続の道を探るために、貴社と協議の場を設けたいと考えています。参加をお願いします。

3. 私たちはシングル8の存続を願う立場から、ユーザーである私たちに出来ることを模索しています。そのために、以下の数値データを把握したいと考えています。できるだけ詳細な数値をお知らせ下さい。

3-1 現在のシングル8フィルムの販売数が、ピークであった1970年代半ばから約1000分の1のことでありますが、1965年のシングル8フィルム発売以降の販売数を年度別にお知らせ下さい。

3-2. 貴社がシングル8専用カメラの販売を終了した1985年以降の現像及び、マグネコーティングの本数を年度別にお知らせ下さい。

3-3. 現在の調布工場でのシングル8の現像及びマグネコーティング作業について、1回における処理能力の本数と、作業頻度についてお知らせ下さい。

3-4. 1965年のシングル8システムの発売以降、貴社が生産したシングル8用カメラ、8ミリ映写機の日本国内における販売台数をお知らせ下さい。

3-5. 6月6日の面談の際に「シングル8フィルムの製造機械、現像機械の設備投資には数十億円が必要」とのお答えがありましたが、製造機械、現像機械それぞれに必要な設備投資の金額を具体的にお知らせ下さい。